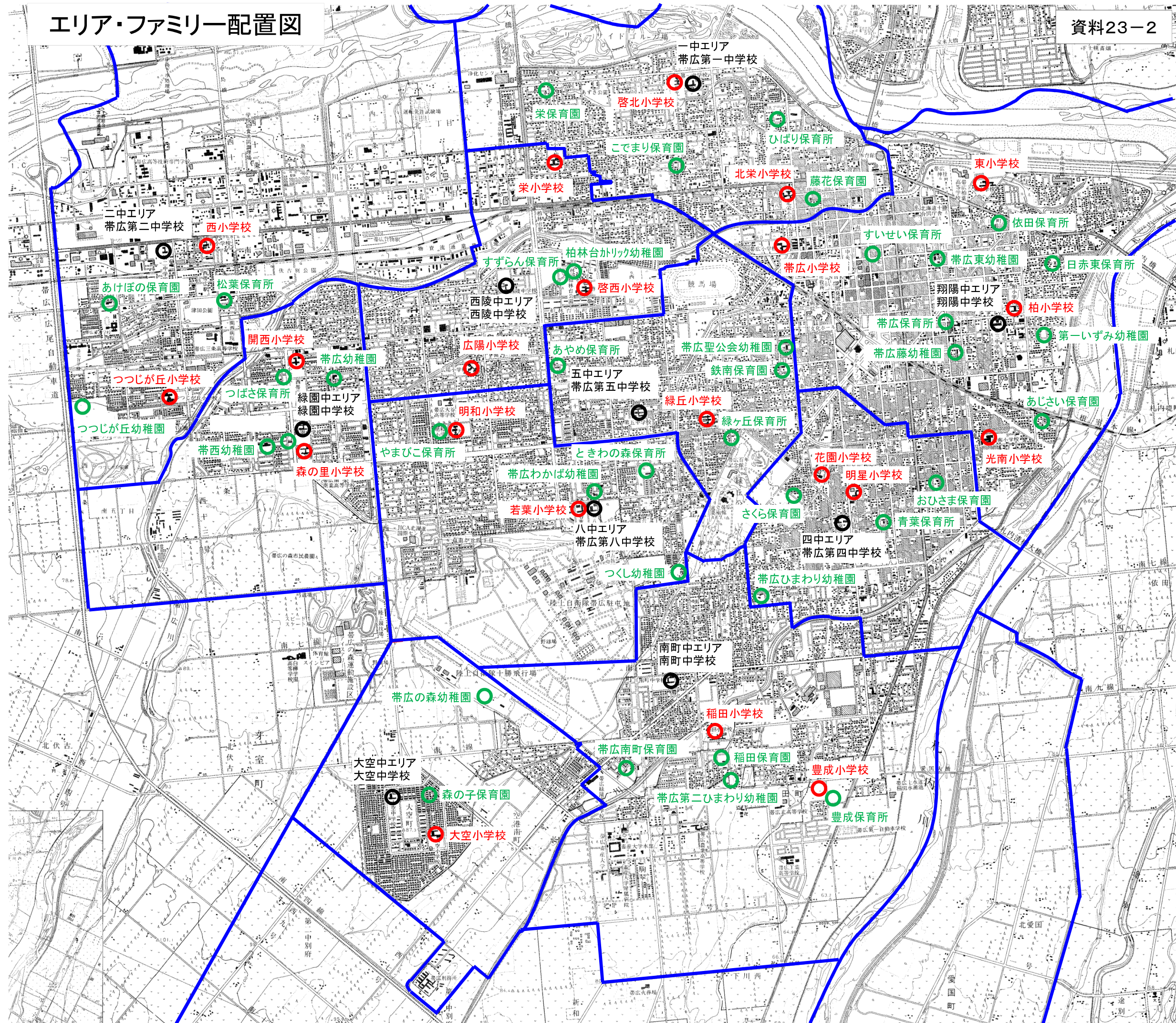


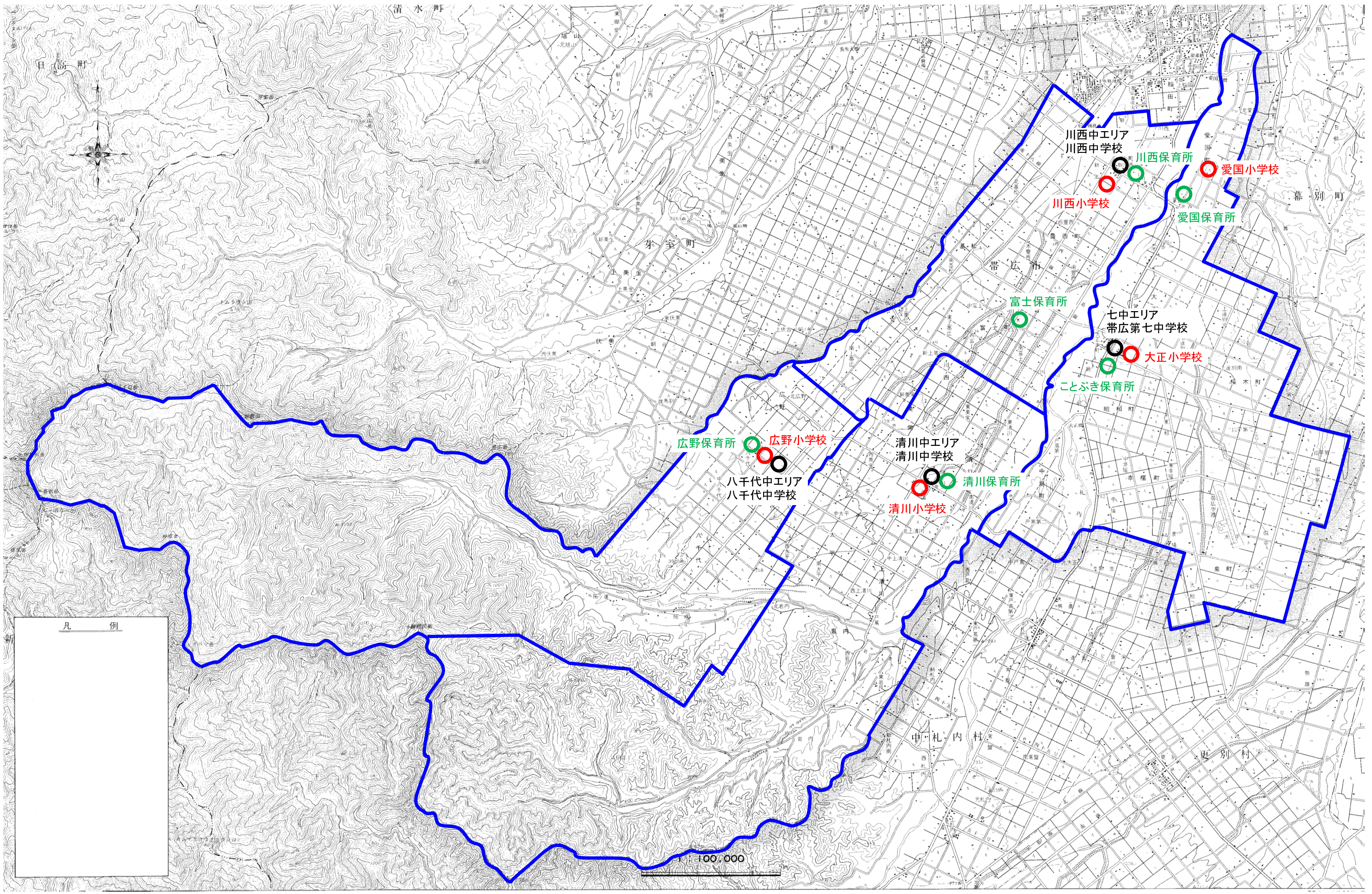
エリア・ファミリー構成表

エリア名	中学校	小学校	児童保育センター	幼稚園 認定こども園	認可保育所(園)	へき地保育所	構成数
一中エリア	帯広第一中	北栄小	北栄		ひばり保育所 藤花保育園 栄保育園 こでまり保育園		14
			北栄分室				
		栄小	栄				
			栄分室				
		啓北小	啓親				
			啓親分室				
二中エリア	帯広第二中	西小	西	つつじが丘幼稚園	松葉保育所 あけぼの保育園		8
		つつじ小	つつじ				
四中エリア	帯広第四中	明星小	青葉	帯広ひまわり幼稚園	青葉保育所 あじさい保育園 おひさま保育園 さくら保育園		14
			青葉分室				
		光南小	光南				
			光南分室				
花園小	花園						
五中エリア	帯広第五中	緑ヶ丘小	緑ヶ丘	帯広聖公会幼稚園	緑ヶ丘保育所 鉄南保育園		8
			緑ヶ丘分室				
			緑ヶ丘第2分室				
八中エリア	帯広第八中	若葉小	若葉	帯広わかば幼稚園 つくし幼稚園	やまびこ保育所 ときわの森保育所		11
			若葉分室				
		明和小	明和				
			明和分室				
大空中エリア	大空中	大空小	大空	帯広の森幼稚園	森の子保育園		5
南町中エリア	南町中	稲田小	稲田	帯広第二ひまわり幼稚園	豊成保育所 稲田保育園 帯広南町保育園		11
			稲田分室				
		豊成小	豊成 豊成分室				
西陵中エリア	西陵中	啓西小	柏林台	柏林台カトリック幼稚園	すずらん保育所 あやめ保育所		10
			柏林台分室				
		広陽小	広陽				
			広陽分室				
緑園中エリア	緑園中	開西小	開西	帯広幼稚園	つばさ保育所 みのり保育園		9
		森の里小	森の里	帯西幼稚園			
翔陽中エリア	翔陽中	帯広小	中央	第一いずみ幼稚園 帯広藤幼稚園 帯広東幼稚園	日赤東保育所 帯広保育所 依田保育所 すいせい保育所(夜間)		16
			柏				
		柏小	柏分室				
			東小				
	すいせい(夜間)						
七中エリア	帯広第七中	大正小	大正			ことぶき保育所 愛国保育所	7
		愛国小	愛国				
川西中エリア	川西中	川西小	川西			川西保育所 富士保育所	5
清川中エリア	清川中	清川小	清川			清川保育所	4
八千代中エリア	八千代中	広野小	広野			広野保育所	4
合計	14	26	41	13	26	6	126

エリア・ファミリー配置図

資料23-2





凡 例

Legend box containing symbols and text for the map's features.

100,000

Scale bar indicating distance in units.

エリア・ファミリー

1 目的

子どもの発達には、幼児期とそれ以降で連続しており、それぞれの成長段階での円滑な接続が極めて重要であることから、子どもの発達を長期的な視点でとらえ、幼・保・小・中それぞれの立場での教育内容や指導方法の違いや共通点について理解し、発達段階に応じた適切な指導が可能となる幼・保・小・中の連携を推進するとともに、義務教育9年間の子どもの健やかな成長を支えるための「おびひろっ子9年教育プログラム」を推進することを目的に、平成22年度から取り組んでいる。

2 平成28年度各エリアの目標・具体的な連携計画（案）

エリア名	構成ファミリー	共通目標・目指す子どもの姿・取組み	具体的な連携の姿		
			管理職	教職員	子ども
一中 エリア	第一中学校、啓北小学校、栄小学校、北栄小学校、啓親・啓親分室・栄・栄分室・北栄・北栄分室児童保育センター、ひばり保育所、こでまり保育園、藤花保育園、栄保育園	(1) 授業や活動参観を通して、各発達段階における現状の把握や課題について情報交換をおこなう。 (2) 保護者との連携を重視し課題に対応した情報交換を図る。	・エリアにおける共通した取組の実施 ・教職員向けの講演会・交流会の実施 ・保護者・教職員向けの講演会の実施	・公開研究会への参加 ・中学校教員による小学校での授業 ・入学児童の引継ぎ等の情報交流	・吹奏楽部によるミニコンサートの実施 ・保育所での中学生の職場体験 ・学校行事への参加 ・1日入学体験 ・夏、冬休み子どもボランティア
二中 エリア	第二中学校、西小学校、つつじが丘小学校、西・つつじが丘児童保育センター、つつじが丘幼稚園、松葉保育所、あけぼの保育所、	(1) 授業や活動参観を通して、各発達段階における現状把握や課題について情報交換を行う。 (2) 発達障がいのある幼児・児童・生徒への支援方法を探る。	○エリアにおける共通した取組を実施。 ・各取組への連絡調整 ・各種行事への参加	・保育所、児童保育センター職員と小学校低学年担当教諭との交流 ・幼稚園の職員研修会に小学校教諭が参加し、交流、発表 ・公開研究会への参加 ・地域公開参観日への参加 ・各種行事への参加（運動会・学習発表会等）	・小2生活科による交流 ・児童会、生徒会合同挨拶運動 ・職場体験学習での交流 ・吹奏楽部によるミニコンサートの開催 ・新入生との交流
四中 エリア	第四中学校、明星小学校、光南小学校、花園小学校、青葉・青葉分室・光南・光南分室・花園児童保育センター、ひまわり幼稚園、青葉保育園、さくら保育園、あじさい保育園、おひさま保育園	(1) 授業や活動参加を通して各発達段階における現状把握や課題についての情報交換 (2) 基本的な生活習慣の確立	○エリアにおける共通した取組の実施 ・保護者向や教職員向けの講演会の実施 ・児童や生徒の意見交流の実施	○公開研究会への参加 ・校内研究授業の参観と事後研の参加 ○中学校教員による小学校での授業 ○エリアにおける合同授業研究会	○児童会と生徒会による合同挨拶運動 ○吹奏楽部によるミニコンサートの実施 ○学校行事への参加
五中 エリア	第五中学校、緑丘小学校、緑ヶ丘・緑ヶ丘分室・第2分室児童保育センター、聖公会幼稚園、緑ヶ丘保育所、鉄南保育園	(1) 授業や活動参観を通じた各発達段階における現状の把握や課題についての情報交換と連携・協働 (2) 基本的な生活習慣の確立と向上を目指した取組 (3) 地域で子どもの安全を守る取組の強化	・入学式、体育祭、運動会、お遊戯会、学習発表会・文化祭、卒業式など行事の参観及び授業参観日の授業参観 ・緑丘小地域公開研究会参観 ・第五中エリア料理講習会 ・第五中エリアフォーラム ・五中校区5校交流会（教務・生徒指導・研修の各担当者） ・中学校教員による小学校での授業	・中学生による保育所・幼稚園での実習 ・保育所による運動会のアピールみこし ・第五中菜園ボランティア同好会による緑小「子どもの居場所づくり支援事業」参加 ・児童保育センターと「子どもの居場所づくり」支援事業の連携	
八中 エリア	第八中学校、若葉小学校、明和小学校、若葉・若葉分室・明和・明和分室児童保育センター、わかば幼稚園、つくし幼稚園、やまびこ保育所、ときわの森保育所	(1) 育ちをつなぐ (2) 学びをつなぐ	・エリア全体で交流できるものへの取組み ※各組織で行う講演会や講習会をエリア全体に周知して参加できる体制整備	・学校、幼稚園、保育所の授業参観の参加 ・学校、幼稚園、保育所の行事の参加 ・新しい環境になじめない子どもへの対応 ・指導要録等の引継 ・中学校教員による小学校での授業	・吹奏楽部によるミニコンサート、交流 ・幼稚園・保育所で保育体験 ・生活科で幼児交流

大空中 エリア	大空中学校、大空小学校、 大空児童保育センター、 帯広の森幼稚園、森の子 保育園	(1)授業や活動参観を通して、各発達段階における現状の把握や課題について情報交換を行う。 (2)各校が連携することで、基本的な生活習慣を確立させる。 (3)発達障害のある児童生徒への支援方法を探る。	○エリアにおける共通した取組の実施 ・ノーメディアデーの実施 ・合同の生徒指導交流会の実施 ・地域活動を活用した児童生徒作品展の実施	・校内研究授業の参観と事後研への参加 ・エリアにおける生徒指導交流会への参加 ・中学校教員による小学校での授業	・児童会と生徒会による合同挨拶運動 ・吹奏楽部によるミニコンサートの実施 ・保育所での中学生の保育実習 ・小学生が生活科の学習で幼児を招待 ・学校行事への参加
南町中 エリア	南町中学校、稲田小学校、 豊成小学校、稲田・稲田 分室・豊成・豊成分室児 童保育センター、第二ひ まわり幼稚園、豊成保育 所、稲田保育園、帯広南 町保育園	(1)授業や活動参観を通して、幼保小中の連携を進め、子どもたちの各発達段階における現状の把握や課題について情報交換を行う。 (2)南町中エリアのより良い教育活動を推進し、子どもの望ましい生活習慣や、学ぶ意欲の向上につながる取組を進める。	○南町中エリアにおける共通した取組の実施 ・情報交流の実施 ・保護者向け講演会の実施 ・幼保小中の円滑な連携のための連絡・調整	○南町中エリアの教育活動の推進を図る。 ・エリア内小中学校の公開研究会への参加 ・教育講演会への参加 ・中学校教員による小学校での出前授業 ・幼保と小学校、小学校と中学校の円滑な引き継ぎによる小1プロブレム、中1ギャップへの対応の検討 ・学童指導員による保育所1日保育体験 ・小学校教員による保育園研修会での講師派遣	○南町中エリアを理解し、積極的に交流する。 ・幼稚園・保育所・保育園での中学生の職場体験や保育実習 ・保育所での小学生の保育ボランティア ・幼稚園での卒園児による交流活動 ・幼保小中学校行事への積極的な参加（運動会、学習発表会、文化祭、地域・PTA子どもまつり） ・小学校での1日体験入学
西陵中 エリア	西陵中学校、広陽小学校、 啓西小学校、広陽・広陽 分室・柏林台・柏林台分 室児童保育センター、柏 林台カトリック幼稚園、 すずらん保育所、あやめ 保育所	(1)『五つの愛(合い)をはぐくみましょう(①交わし愛, ②語り愛, ③教え愛, ④育て愛, ⑤生かし愛)』を主体とした取組について、情報交換を行うとともに課題を明らかにする。 (2)西陵中エリアの人的ネットワークを活性化させる。	○「五つの愛(合い)をはぐくみましょう」を充実させる具体策についての検討 ・情報交換会の実施 ・職場見学会の実施 ・保護者への啓発活動の実施	○ネットワーク活性化のための取組の推進 ・ネットワーク会議の実施 ・幼保・小・中連携による授業の充実 ・絆プロジェクトの情報交換	○「五つの愛(合い)をはぐくみましょう」の理解 ・各種イベントにおける交流 ・各種行事の見学
緑園中 エリア	緑園中学校、開西小学校、 森の里小学校、開西・森 の里児童保育センター、 帯広幼稚園、帯西幼稚園、 つばさ保育所、みのり保 育園	(1)授業や活動参観を通して、各発達段階における現状の把握や課題について情報交換を行う。 (2)基本的な生活習慣の確立。 (3)発達障害のある児童生徒への支援方法を探る。 (4)全体・部分等、全体でなくともより気軽に声をかけ合える連携(顔の見える連携)を強める。	○エリアにおける共通した取組の実施 ・緑園ブロック交流会主催合同研修会の実施 ・おやじの会、学校支援地域本部事業との連携 ・連合町内会主催夏休み体操会	・エリア内小中学校公開研究会への参加 ・巡回指導教員を中心にした学びの連携研修会実施 ・巡回指導教員による小中3校の日常的な交流・情報交換の実施。 ・エリア内小学校自由参観日への参加 ・中学校教員による小学校での外国語活動出前授業	・出前授業における中学生によるサポート ・生徒会による小学校でのあいさつ運動 ・エリア内小学校合同勉強会(長期休業中) ・中学生による小学生へのダブルタッチ指導 ・学校行事への参加・見学 ・中学校への体験入学、小学校への体験入学 ・中学校「リョクエンジャー」による環境問題を考える会の開催
翔陽中 エリア	翔陽中学校、帯広小、柏 小学校、東小学校、中央・ 柏・柏分室・東・すいせ い児童保育センター、第 一いずみ幼稚園、帯広藤 幼稚園、帯広東幼稚園、 日赤東保育所、帯広保育 所、依田保育所、鉄南保 育園、すいせい保育所	授業や活動の参観、研修会の開催などを通して、エリアの子ども達の実態把握と課題解決に向けた行動連携を図る。	・子どもの発達段階に応じた各機関での指導や関わり等について交流し日常の指導に生かす。 ・保護者や地域との信頼関係の構築について成果と課題を共有し、職員の資質向上	・子ども達の実態に基づき行動連携の充実	・各種行事への参加・交流 ・エリアとして、児童会と生徒会を中心に子ども達が主体となり相互交流を深める機会の設定

七中 エリア	第七中学校、大正小学校、 愛国小学校、大正・愛国 児童保育センター、こと ぶき保育所 愛国保育所	○異なる学校種の関係者が、互いの教育の特質 や課題について理解を深め、子どもたちの発達 や学びの連続性を重視した教育活動を推進し、 小1プロブレム・中1ギャップ防止に向けた適 切な準備や対応を図る。 (1) 授業や活動参観を通して、各発達段階におけ る現状の把握や課題についての情報交換を行 う。 (2) 生活年齢に応じた基本的な生活習慣の確立 を図る。 (3) 発達につまずきがある児童生徒への支援方 法を探る。	○毎月7日をエリアの日としてノーテレビ、ノ ーゲームの日を設定 ・ 合同の生徒指導交流会の実施 ・ 合同の教育課程交流会の実施 ・ 保護者向け講演会の実施 ・ 公開参観日の実施 ・ 交流事業の打ち合わせ ・ 大正地区青少年健全育成協議会・講演会へ の参画	・ 日常的な情報交流 ・ エリアにおける生徒指導交流（月目標、実態 交流） ・ エリアにおける教育課程交流 ・ 引継ぎ（保育所→小学校、小学校→中学校） ・ 入学説明会、体験入学 ・ 保護者向け啓発資料の作成	○合唱交流の実施 ・ 児童会と生徒会による交流 ・ 保育所での中学生の保育実習、体験学習 ・ 小学生が生活科の学習で幼児を招待 ・ 学校行事への参加
川西中エ リア	川西中学校、川西小学校、 川西児童保育センター、 川西保育所、富士保育所、	(1) 授業参観や活動参観を通して、各発達段階に おける現状の把握や課題について情報交換を行 う。 (2) 基本的な生活習慣の確立を目指し情報交流 を行う。 (3) 発達障害のある子どもへの支援方法を探る (4) 子どもの交流・職員の交流を持つ。	○エリアにおける共通した取組の実施 ・ 合同防災避難訓練の計画・実施 ・ 合同の生徒指導交流会の実施 ・ 作品交流の実施	・ 小中公開研究会への相互参加 ・ エリアにおける生徒指導交流会への参加 ・ 保護者向け啓発資料の交流・作成 ・ 中学校教員による小学校への授業	・ 児童会と生徒会による合同挨拶運動 ・ 保育所での中学生の保育実習 ・ 小学生が生活科の学習で保育所訪問 ・ 学校行事への参加 ・ 1日体験入学
清川中 エリア	清川中学校、清川小学校、 清川児童保育センター、 清川保育所	(1) 授業や活動参観を通して、子どもの発達段階 の状況や課題について情報交流を行う。 (2) 生活年齢に応じた基本的な生活習慣の確立 を図る。 (3) 発達につまずきがある子どもへの支援方法 を交流する。	○エリアにおける共通した取組 ・ 挨拶運動の実施 ・ 基本的な生活習慣の確立 ・ 「小中連携会議」の実践の深化 （授業交流、生徒指導交流、出前授業 等） ・ 地域と連携した環境教育の推進 ○各施設利用への協力 ○小学校・児童保育センターの情報交流	・ 合同運動会の計画・実施・反省 ・ 校内研究授業、参観日授業への参加 ・ 地域「秋祭り」への参加協力 ・ 小中連携グループでの実践と記録の蓄積 ・ 中学校教員による小学校での授業 ・ 保育所・小学校との交流	・ 保育所・小学校・中学校合同運動会の取組 ・ 児童会・生徒会による挨拶運動 ・ 児童・生徒による地域防犯標語の作成 ・ 中学生の保育所訪問授業 ・ 小学生がフェスティバルに保育園児を招待 ・ 中学校の授業を体験 ・ 「秋祭り」への参加
八千代中 エリア	八千代中学校、広野小学 校、広野児童保育センタ ー、広野保育所	(1) 情報交流や授業・行事を通して各発達段階に おける現状の把握と課題の共有を図る。 (2) より良い生活リズムを確立する。 (3) 特別に支援が必要な児童・生徒の情報交流と 支援の方向性を考える。	○エリアにおける共通した取組 ・ 合同運動会の実施 ・ 地域安全教室の実施 ・ P T Aによる通学区域点検 ・ より良い生活リズムをつくるための、ノー テレビ・ゲームデーの設定	・ 合同運動会小中・P T A合同会議 ・ 授業研・参観日の参加交流・研修の交流 ・ 各発達段階における現状の把握と課題の共有 ・ 支援が必要な子供の情報交流と支援の方向性 ・ 小中P T A合同研修会 ・ 教育課程の接続の連携	・ 合同運動会参加 ・ 地域生涯学習事業（スキー教室、カルタ大会） ・ 合同水辺ゾーングラウンドワーク参加 ・ 中学生の保育所訪問 ・ 保育所・小学校交流学習 ・ 小中の教育課程の接続

ふるさと おびひろで

学

ぶ

育

っ

おびひろっ子 9年教育プログラム

ふるさとの風土に学び
人がきらめき 人がつながる
おびひろの教育

これは、平成22年度から平成31年度までの10年間を計画期間とした「帯広市教育基本計画」の基本理念です。

帯広市では、この基本理念の実施をめざし、子供の未来を見据えた小・中学校9年間の義務教育の期間を充実させ、一人一人の学びと育ちをつなぐために、学校や家庭、地域が連携した取組をすすめています。

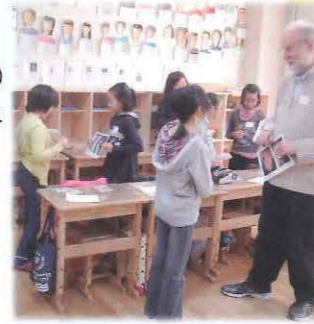
市内の小中学校が連携して、帯広の自然を生かした様々な学習、体験等を取り入れ、帯広市の子供達の健やかな成長を支えていくための「おびひろっ子」を育む「9年教育プログラム」の概要をご紹介します。

帯広市教育委員会

ふるさとおびひろで 夢を育む9年間

帯広市では、小・中学校9年間のつながりを大切にし、子供達に「知・徳・体」のバランスのとれた「生きる力」を育てています。学校では、「学びの約束」を決めてしっかりと基礎基本を定着させるとともに、北国の自然や地域性、地域の人材などを生かし、発達段階に合わせて様々な取組をすすめています。

外国語活動の授業の様子



中学校 地域の企業や職場を訪問したり、職業を体験したりして将来の夢につながる勉強をします。



中学校

小～中学校 帯広市の外国人講師が小学校に出向き、楽しく外国語活動を行います。また、中学校の英語の教員が小学校を訪問し、中学校の勉強に意欲を持たせます。

5年生 児童会館や緑ヶ丘公園を利用した宿泊学習を通して、望ましい集団活動や科学に関する勉強を行います。

1年生 入学後の1ヶ月は、幼稚園・保育所(園)の教育や保育を踏まえた小学校生活に慣れるための特別な時間割(スタートカリキュラム)で勉強します。

例)「がっこうたんけん」で、トイレや水飲み場、ロッカーの使い方等の勉強からはじめます。
非常口や通学路を確認し、安全にも気をつけます。



小学校

小学校の入学時

幼稚園や保育所(園)から小学校に、一人一人の様子をていねいに伝えます。

低学年 幼児と小学生が交流する勉強をします。

3・4年生 帯広独自の社会科のテキスト「おびひろ」で、郷土の歴史や農業、アイヌの人々の文化などを勉強します。

4年生 バスを利用した郷土体験学習で、帯広市のまちづくりの考え方や、施設・環境などについて勉強します。

2年生 帯広市の自然や季節感を大切にした勉強を行います。※氷のお面づくりで氷まつりに参加！



氷のお面づくり



副読本「おびひろ」

おびひろの食育

地域の食材を使った「学校給食」や、地域の人材を生かした「帯広らしい食育」をすすめます。



食育の授業の様子

栄養教諭や食育指導専門員が、食についての勉強を教えます。

帯広市学校給食センター



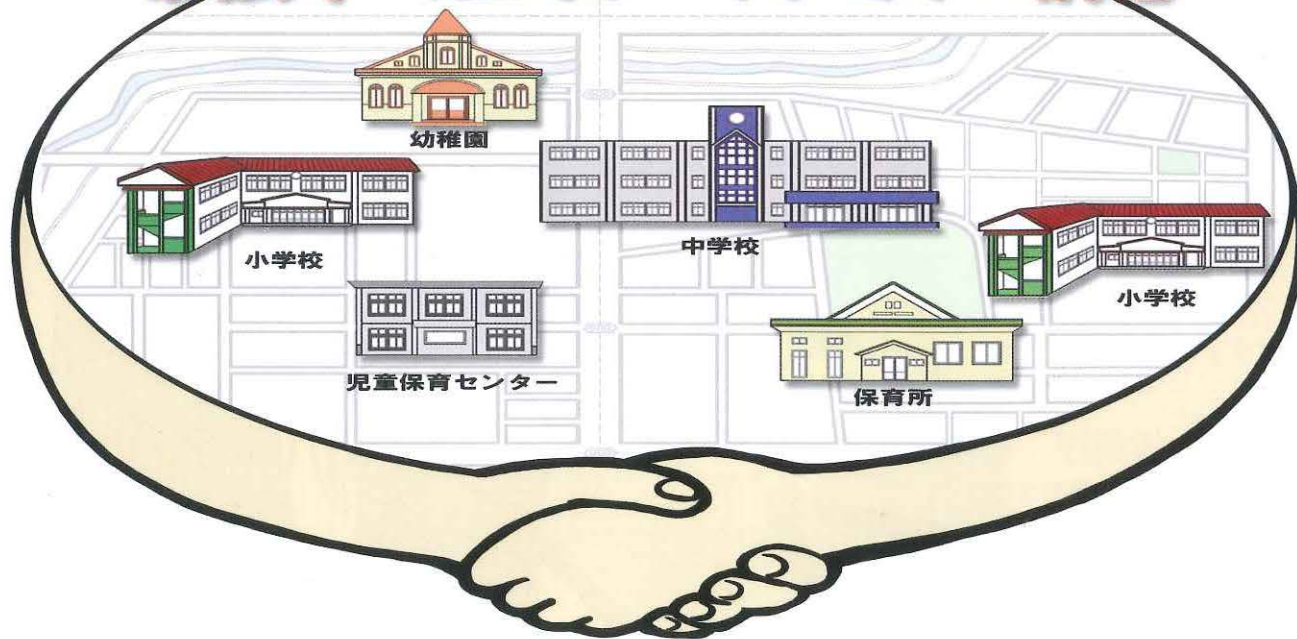
おびひろの特別支援教育

一人一人の障がいの状況や教育的ニーズに配慮した指導をつなぎ、子供のよさや個性を伸ばしていきます。



幼児教育・保育

帯広市のエリア・ファミリー構想



幼保小中 が連携して子供の学びと育ちを支えています

帯広市では、中学校区を一つの家族として考える「エリア・ファミリー構想」を推進し、小中学校と幼稚園や保育所等が連携して子供の学びと育ちを支える体制を整えています。エリアごとに教職員等による交流や研修会、保護者向けの講演会を実施するなど、様々な取組を進めています。

小中連携による学習サポート



夏、冬休み中には、地域の方も先生方と一緒に子供の学習をサポートしてくださっています。

幼保小中合同による講演会の開催



同じ校区に住む保護者を対象に、子育てについての講演会などを実施しています。

地域の方々とともに、子供達を育みます。



おびひろっ子学びのイメージキャラクター
「じゃがまくん」 ©2013

イラスト：大石 千鶴

お問い合わせ：帯広市教育委員会 学校教育指導室
(Tel.65-4205)